



73
6780
4



門 73
號 6780
卷 4

職原抄口詠卷之六

松園玄達成章錄

親王
一人

公卿

公達

諸大夫

諸王

侍

以上四等

諸臣



一人 公武 諸大夫 諸王 諸臣 諸百官 人人ノ家節人カラ
職原抄口説卷之六

職原抄口説卷之六

親王

此ヨリ下至極^終ニテハ親王大臣諸臣百官ノ人人ノ家節人カラ



ノイテ此ノイリニ先世段ヲヨク流メハスヘテノ官職ノ此ノ家カラ
品々カヨク知ルヘシ古来此ヲ終ヨミ来リ此ハ最初ニ先世ス

ヘキナリ此ノオカスマ子ハ前々ノ官職ノ次ノ家カラノケカ知

リニクニ十四^五經ノ任督ヲ先ヘヨムトク先世旺カラ先ヘヨムナリノ古来

サセ又ハ下ノ流ヤウカゾ親王ハ天子ノ子ヲ云親王ヲ宣下ノ子ヲ

諸王ト云ノ親王トハ云又ノ常ニ諸王ト云ノ親王ノ宣下アリテカラ親

王ト呼フニタト當林ノ御子ニテモ宣下ナキハ親王トハノ又ノ前

卷ニ正親^{チホキミツカサ}司ト云官アリシレカ天子ノ御兄弟再世兄弟ニ世三四五

世ニテノヲチツマヒラカニ吟味ノオホヘテシ法王御親族ノヲチツカトノ

カレカニニソノ親疎言下ノ品ヲ正スソ宣下ノアルトキ元正親司カソ宣

千代ルキ王子ノ御諱ヲ女付申ニ上ルソ宣下ノアルトキ法王ハカリ
ハ天子ノ震筆ニテ直ニ筆ヲ添ヒテソノ諱ヲ遊ニ上歸ノ仰セ
付ラレヨリ内記カ兼テ位記ヲ認ルルノ扱諸臣ヲ叙セラルト親王ヲ
叙セラルト位記ノ認ヤウカレリ 巨喜式ノ内記式ニソノ式ハ出テ
可考見 白紙ニ書クニ表ハ白クニ裏ヲ紫ニテウスモノハナク色ノ表
紙ニトリノソデアヤノモトヲ赤木ノ軸ヲ付ルトアリソノハ今ニ洋ノ親
王宣下ト云ハ天子ノ御兄ヲマ當禁ノ王子ニアルトシ女官ニモアリ女
官ハ宣下ヲ蒙リテヲハ内親王トイフ當禁ノ御兄ヲト云ハ先帝
ノ御子ナリニハ當禁ノ御子ト曰例ノ如常帝モ曰トシ王ト云稱号
ハ天子ノ王子ヲ一世ト云ソノ王子ノ御子天子ノ公ト云ニ世ト云ソノ子ヲ
三世ト云ソノ子ヲ四世ト云ソノ子ヲ五世ト云五世ト云ハ王号ヲ稱ズルソ
此ニテカ天子ノ御子孫ノウナリトキタル王子ノ御子五世以後六世

トイフモハ凡人ノ親王宣下ノアルト云ハ一世ハ勿論ニ二世ト云ハ三世ノ例
ハミクナリニ世カラカ親王宣下ノアルト云ハミクナリト云ハ多ハナキト云ハ三
世ノハ絶ソリナキト云ハ三世ヲ親王ニナセルト云ハ天子ノ御美良子ニ
ナレテ子ナラヌト云ハナラヌト云ハ今ハ有栖川ハ八条此兩家ハ親王家
ノ統レニ代々相ツイテ宣下ナシニ親王トイフハナラヌツ一旦天子ノ御
美良子ナリニテ親王トナリテツクニ代々ツイテ親王トイフハト云
ナラヌト云ハ今ハ有栖川ハ後西院ノ王子ニ云ハ有栖川ハ八条ハイ
ツレモ代々一ノ称号ニテ親王ニナリテツクハナラヌ一代一代ニテ称号カ増
イマノ有栖川ノ先代ハ高松殿トイヒ高松親王ト稱ス其後ハ花
町殿ト稱ス今ノ代ハ有栖川ト稱ス一代々ニテ称号カカレト云
ハ八条殿モ其通りノ常盤井ト稱スルトモアリ今ハ京極ノ宮ト稱ス
代々々ノ称号カカレト云ハ一ノ称号ヲ相ツイテ親王ニナリテツク

恒規公定リタル規式ソト也イマタ親王ニ成玉ハ又トキハ諸王ト称ス源氏ノ姓ヲ賜ハルノステ白王子ニ姓ヲ玉ハルニ他ノ姓ハ賜ハラズ必源氏カキルノイマタ源氏皆シカラノワカレナリ清和ノ御子ニ源氏ヲ賜ハリタレテ清和源氏ト云村上源氏ノ白王子ニ源氏ヲ賜タルヲ村上源氏儀我源氏ト云ノタトハイマタ源氏カ清和ノ御子貞純親王ニ源氏ヲ玉ハリテ云ニ清和源氏ト申タリソノ六孫王ト下源氏儀未清和源氏ト呼フハ貞純ノ物ヲ意トイフナリ 雖襖褌一襖褌公ツキノ襖褌童体ノトキハ幼年ノトキヲ云幼サナル諸王ナリトイハレ親王ノ宣旨ヲ蒙リ玉フワレト也一歳ノトキニ宣下アリ之例ハ清和ノ貞觀十八年十一月白王子貞ノガ祝玉一歳ニテ宣下アリ貞ヨリ祝玉目服年ノ一カノ宣下アリテ祝玉ト成玉ナリ此襖褌童体トイマタ元服ニ玉ハルニ已テ宣下アリ之例ニ 元服之儀叙品トハ叙品位階ヲ

玉ハルノ臣下ニテハ位ト云ノ親王ニカキリテ品ト云元服ノトキニ位階ヲ賜ハルノ叙品ト云ルノ位階ヲ玉ハリテ四品ニ成玉フノ
 當代后服親王一當代尚林宗ノ后ノ服ノ皇子ハ叙品必三品ニ叙玉フテ宣下リノ自余ノキバヤ他ノ者ニオホク皇子ハ四品ヲ叙品セラルノ后服トハ一后ニ玉フテ后ノ御服ニ授生ナリシ御子ヲ云也自余トハリ外ノ服ノ王子ハ四品ソトノ此ハ西宮記ノ親王元服篇ニ詳ニ西宮記ニハカ一ノ皇子ナレタトヒ后服ニアラカレハ三品ナリトナリ或又後日ト云ハ大抵ハ元服ノトキニ叙品セラルカ常也又或ハ元服ハ元服ニテスミテソノ後ニ叙品セラルト是又例ハ元服ノトキニ叙品ニテ元服シ玉ヒソノ後日ニ別ニ叙三品玉フナリハ首書大全等ハ説ハルニ首書ニハ四品ニテ元服ノトキ一品二品ニ叙セラルトナリ此説非ニ或説ニト引タルカヨキ説ニ可位用 元服時不叙品後日

令叙品ト之童体及無品親王——童体ハイタテ幼年ノ内
元服已前也無品ハ四品以下ヲ云ムホントヨムナリ又ハムホント清シ
ヨムニ無品ト云ナ林宗重雜記ナトニ五品ヲ云トイリ誤リナリ親王
ノ叙品ニ四品ヨリ下ハナキ一ノ五品ト云一ハ加シテナキ一ノ六品
任位ト云文諸王ヲ無品親王トイフ位階ノ外ナキ云ヘリ無任官之例
兵トハ任官トハ親王ノ任官ハ兵部卿ヤ中務卿ヤ飛彈大將上野
大將上總大將等或ハ大宰ノ帥是等ヲ親王ノ任官也御幼少
十九ニ任セシレテカラツトモ一ノナキニ任官ノ例ハナキハツ一ノ
無ニハアラヌ成人セシクルニ任官ノ例モアルトミナリ幼年ナルニ任官
ノ例ナリ成長ニハハル一ノ一ノ心得ハアラズ無品ハモソトナリ又
無給姓之人更爲親王者不改本位乃爲品此一段色々ノ穿鑿
ノ謬説アリ不可用 此ハ天子ノ皇子カイマタ諸王ニテ宣下モナリ源

姓ヲモ賜ハラス宣下モ蒙リ至ハ又人ガハシメテ親王宣下ヲ蒙リ至テ
親王ト成王ト云シメノニ位ナレハニ位三位四位ナレハ三位四位モトノ諸王
トキニ位階ノ名ヲ不改メテヤハリ位ノ字ヲヨビカレテ位トイフハ人
臣ノ位階ヲ位ト云親王モ諸王モイテ宣下ナキ内ハ人臣ナシニ三位
ノ四位トイフソレキ親王ニ成王ハハシメノ本位階ヲ不改メテ
如シ四位ナレハ四品トヨビカレニ位テアリハ三品トヨビカレニ位ト也
本位トハ親王ニ成ラレ又已前ノ位階ヲ云親王ニ成ラハ位トイフニ
品トヨブニ品ト云ハ親王ニ限テイフコトハナリ此ニテ人臣ト親王トナカ
ツタメニ不改トハ本ノ位階キヤハリ用テタハ位ノ字ヲ品ノ字ニカテ
四品ノ三品トヨブコト也一位ニモ二位三四位ニモ位階ハ經テ居
玉此イタ宣下キ人ノ後ニ親王宣下アリタルトキイテイハリ舍人
親王トガ是ナリ日本紀ニ持統トキ舍人親王ニ崇廣貳子王

トアリセウ廣貳ハイニ考レハ從二位ニ名リ此ニ從二位ノ位階アリコト
姓ヲ玉ヲフモニス親王宣下ノフモ持統紀ニニ又タ、如クハカリアリ其若
天武ノ興雲二年ノ紀ニ二品舍人親王ニ封テ添ストアリ從レハ世
先考考レハシテ持統ノトキハ從二位ノ親王宣下ナキニ云フト三
文武紀ニ二品ト云ルヲ以テニ此後ニ宣下アリテ已後ニ品ト改クル
トニテ別勘説ハ、不政本位——トイフ段キコトノホカ六ヶ友
辨セリキコトカクモソノ説謬説ノ不可用但名分正從者也臣下
ノ位ニ正下從トアリ親王ニハ正位ハナキニ夕、一品二品トイフニ
夕、人臣ナシトキハ皇子ニモ正位アルニ、皇孫親王皇孫ハ
天子ノ御孫ノ天子ノ御子ヲ一世ト云皆親王宣下アリソノ御子
ノ御子ハ天子ノ夕ノニゴ子也此ニ宣下アルハ非常ノ一ニナリ
ソト也四十九代弘仁天皇ノ御子ニ早ハラノ親王トイフアリソノ一伊

豫親王ト云アリ此弘仁ノ夕タメニ孫ノ夕早良ノ才ニ平多親王
ト云アリソノ子ニ高橋親王トイフアリ此皆皇孫ノ宣下アリ之例
ノ從レハ直末ハ大勢アタタ皇孫ニ宣下アリテ親王ニナリ王ハ
非軍アルソト也 忠房親王 忠房ハ天子ノヒゴ子ノ皇孫ノ子ノ
八十四代順徳院ノ才ニノ皇子タ、ナリト云ルアリ 諸王ニテ居玉ハ
親王ニ宣下ナカリニソノ子 彦仁王トイフソノヒコ仁、子ヲ忠房ト
イリ 彈正尹中納言ノ中將ニ成玉ハリ文寶元年中ノ一ニ三世ノ
源氏ハ天子ノヒゴ子ノ此カ親王ノ宣下ナシ家セリ 此ハ古今ニ未ダ有
ノ一ノ從レハ此モイカフ不審ナルモイフニテ云ス此モ天子ノ養子ニ
成玉ヲ宣下アリモイフハ八条有栖川ノコト也 梳子ハ常ニナリ
ノ一ニ用エ此ニハ天子ノ御養子ニナレトイフイリ 忠房ハ後宇多
院ノ御養子ニナレテ親王ノ宣下アリモ一ニ是ハ一向御梳子

枕

勅

元

宣下アリテハ各別ノ一ノ常ノ格或トハナラヌ四世五世宣下アリテハ
 常ニナキ例ソト也^枕子ナレハ御子目前ノ列ニナサレテカラ宣下アリテハ
 左親王其次トハ座ニ着テトキノ一ノ大臣トイフモ之ノ大臣ハカリニアラヌ
 大政大臣ト親王ト對座也^右大臣ハ下座ニ合シテ改令ノ義辭ニ此ノ
 洋ノ左右大臣ハ府ヲ和^和ノ辭アリ大政大臣ハ對座ニテ座ヲ不^不初トアリ
 至殊禮者可依^依例トハ此ハ又各別ノ一ノチイリ定リハ親王ハ大臣ノ
 上ニ着ル^上テ座ニヨリ殊ナル禮ニ親王カ大臣ノ下ニ付ル^下トモアルニ
 大全ニ右腹ノ白王子ハ重クメソ品高キ云ニ大臣ノ上ニツキ母ノカロキ
 皇子ハ下ニツクトイハバカ^カノ一ノサハカキラ又^又ノ一ノ結日本紀ニ天平室
 字トキノ詔ニイ^イヨリ親王ハ三公ノ下座ニツカル^ルヘキ^ヘトテ詔アリ
 シ^シノ一ノ此^此ヲ殊禮ト云^云此トキハ後原ノ惠美推勝カ大臣ノ此カ
 天子ノ養臣ニテ殊渥ヲ蒙ケ人ナルニ一ノ特外ニ推勝ヲ尊ル^尊ル^ルトテ
 如^如此親王モ大臣ノ下ニ着レヨトノ詔アリシ^シ一ノ此^此ノヤウナル^ル也^也
 宣キニ後^後ノ一ノ親王モ下座ニツカル^ルトアル^ルニ大全ノ說ノ如^如ク右腹
 ノ皇子毎ノ賤王子トイフニカキ^カル^ルトニアラヌソレニヨ^ヨテ又^又ノ一ノ預
 光^光トイハル^ルニキ^キ說ナリ 當代親王トハ當禁ノ一ノ白皇
 子^子ノ此^此ハソノ位^位高^高ク貴クメ幣モササナル^ルトイ^イカナル大臣モ
 王^王ニヤクア^アテ下ニ着^着レ子ハカ^カハ又^又ノ一ノ此^此ノ一ノ白皇子ノ上ニイ^イカナル大
 臣モナク^クレ又^又ノ一ノ治世^{治世}上皇トハ後白川院ノユトキチイ^イフステニ位
 チス^スヘリ院ニ成^成テモナク改^改チイ^イロイ^イ五^五テ少^少佐セラル^ル院チイ^イフニ當
 代ノ仙洞トハ院ニ成^成テハ一向ニ當禁ノ改^改ニ御カ^カハ^ハイ^イナク御相^相禮
 ニモア^アカリ玉^玉ハ右白川院トハ院ニテカラニ當代ノマ^マリコトニ預^預リ院
 中ノ赤沙汰ニテ公子ヲ行^行レタリ 此^此上白王ハ幣モサカニ望^望モナ^ナキ
 ユ^ユニソ^ソ御子ハ院ノ御子ナレハ治世ノ上白王ノ御子ナル^ルニ日^日足^足チハ大

務

臣モナレニ重セラル、余ノ親王トハ混セズ各別ナルコト也后白川
已後治世ノ上皇ノ威ノ貴重ナルコトナレリ大臣ト親王トツ品
上下イツレカ上イツレカ下トイフニツイテ或説ニ親王ハ大臣ノ官ヲ一々
經ラルカラハ大臣ヨリモ下ナルヘシトイヒリ然レハ大臣カ上トイフ可此
説大ナルヒガ、謬戾疎サウナリ三州ノ太守ヤ兵ア卿中納言ハ
定名親王ノ任官ナリ此ハソノイテノ、親王ノ中將ヤ大納言中
納言ナトヤウナル大改官ノ下ニナル官ヲ任セラル、コトヲ取テイハル
説ナリ此大改官ノ改官ノ中將大納言ホナリ任セラルハ大臣
ヨリ位カ下ナルコトニ此ヲ經ラルトイフコトハアラス此ハ説ノ任ナリユタ
々天下ノ政務ニモアツカリ玉フ御身ナルコトニ改テ、コトニツカハリ
玉ハサレハキアツリテナラヌコトノ試ノコトヤチタメニ也徳器量ヲ
アラシテ試ラレシタメニ任セラルト、此ニ任セラル、ナルテ大臣ヨリ位カ

誠

器

下トイフハワケチ知ラヌ説、政務ヲ習ヒ至ハレタメノ試トイフモノ
官カ下トキユニ此ヲ任セラル、ニアラス此ニテ大臣ト親王トイツレカ上下
トイフコト諫味ナル説ナリ三州太守ホハ元來親王ノ任官ニソレヲ除テ
大改官ノ大納言中將大將ホノ官ニ任セラルトイフイハリ或説カラカッ

漑

公卿 クギヤウ 攝關及ヒ三公キスヘテ公トイフ、公ト卿トチテイハ散一
位ノ此ハ位階ノ上ニテイフ公卿、公ハ攝家ノ衆大臣ナラテハ付又ソ
名乗チセクモ名乗ノ下ニ公ノ字ハ皆不名乗、三公大臣ト知ルソ家
庶公其基庶公ナト、公ノ字チ付クルハ皆内大臣以上ノ大臣名トカ知ルゾ
大納言以下參議マテ、定家卿ナト、卿ノ字チ付ルノ卿ノ字チ付ルハ
卿ナリトイフスノ知ルソ參議者名四位トハ參議ノ位階ノ相ノ向ハ四
位ナレハ卿トイフソ元來ハ三位カラガ卿ナレハ參議ノ職カ卿ノ

ツトハ職ナリ参議ハ大政官へ出テ大臣ト参リ議ルニハ位階ハ
四位ナレハ歸ニテラセハソノ職方カ歸ノ職方ナレニ歸ト云ク但
名ト改メタルトキ上ヨリ名ヲ名カレトアリ某ノ朝臣トイフテ名カ
ジキニ四位ト名カレニニアラヌ某ノ朝臣トヨルトコロカ四位ト称ストイフ
モノニジキニ四位ノモノニ依セヨト仰セラルニニアラヌ某ノ朝臣ト名カ四位
ト名カレトイフモノニ朝臣トイフハ尸ノ上ニ諱ヲ付テ下ニ尸ヲ付由ノ
朝臣トイハ四位ノ人ノト起シソ四位ノ人ニ極タル位ニ定レル虫ヤリ呼ヤウ
也称四位ト四位ト名カレトキニヨハルトイフハ心ナリ

領

諸王 親王宣下ノ無キ諸王トイフ五世ニテテ諸王ノ中へ入ルニ
六世カス入レヌリ貞雲年中ノ格ニ六世テモ宗領ノ子ハ諸王ノ列ニ
入ルコトナレ番目ノ子カラハ凡人ナリニ 諸王ノ列ニ不入ト也官位ヲ
至レハ諸臣ナリニ官位ナレハ凡人ナリ 諸王トイフハ五世ノ孫ニテ

トマテハ天子ノ御子孫ノ列ニ一セトイフハ天子ノ皇子ヲ云ニ世トハ
ソノ皇子ノ子ハ天子ノ孫ニハ孫ニ古ハ此諸王ノ列ニテモ改ヲツラ
レタルトイマタ親王宣下モナクイマタ源氏ノ姓ヲ賜ハラフ間ハナシ
ナテ諸王ト号ス親王トヨバヌリ給性トハ諸王ハ姓ヲ至ハルハ他ノ氏
ハナキトイフテモ皆源氏ノ姓ヲ賜ハルハ源ノ一親王ト呼フ
ソ源ノ貞純親王トイフ如シ叙位已后無王歸之差別宣下ナシニ
名ハ位階ナリヲ叙セラレタル諸王ナレハ天子ノ御子ハ公歸トイフソノ差
別ナクナシナテ同北軍同列ニナルソ位階ノ一曰テモハヤク先ナリタレ
人ヤ一日ノ中テモ先ハスニミタル人カトト公或ハ歸テモソノ諸王ノ座ヨリ
上座ハ着ルハ天子ノ御子ニマホトニタツトキノ公歸ニマホトニタツトイフ
差別ハナキト也トテラテモ一日モハヤク位階ノ高カハヤクヌミタルカ上座
ニソノ上下先後ノ位次位階ノ也カヲモモリテ此カノトナリニ上下ナリ

諸王テモアトナレハ下ニ居公卿テモ先ナレハ上ニナルトノ此コトナリテ差
別ハナレハ又諸王トイフハ一ツカリメノ規模ナリトモアリソノ位階ハ同
ナレハ袍カチカフノ諸臣卿ハ其位ニ成レハ赤キ袍ヲ着ルソ諸王ノ
分ハ五位ノトキ黒キ袍ヲ着ラレハ叔四位ニ昇進スレハ諸卿ハ黒
キ袍ヲ着ルソ諸王ハ四位ニ成レハ薄紫ノ袍ヲ着ラフ也此テ諸
卿ト諸王トノカリ目ヲ見セケルモノ臣ト白王子トノ混セヌマウニ此モ
ソ別カミタリ全体ソノ位次ヲ守ルハ洗婦トカレトナキ中ニ袍カチ
ラコテラチガレハ天子ノ御子孫ノ位ニシテモモ也
諸臣 モロノ臣下百官ヲスヘテ云 公卿ヲ除テ四位カラヌム官
人ノ分サテハ大初位ハ九位ニ九位カラハ上ノモノ此ヲ通メ諸臣ト云
四位以下ハ四位カラ初テ位階ヲ申ス官人ヲ云 初位已上トハ大
初位 九位カラ始テ位階ヲ申スモノ此ヲスヘテイフ也 此モ元来ハ
四位以下 四位ヨリ下ヲ諸臣トイフニハラス令ニ 諸王ヲ除テ一位
以下スヘテ公卿モ大臣カラチ備モフメテナシケルメテ諸臣トイフトアリ
然レハ公卿カ除ケズニレハ入レテ諸臣トイフハ職原ノ此処ハサニ
ハラス下ニ公卿諸臣之中別ニ出メイルトイフハ文法ヲミルニ准
后ノ心ニハ公卿ヲニワ除イテソヨリ下四位カラ以下ヲ諸臣トイフト
心留ラレケルモ也サイワレハ下ノ公ハ諸臣トニワニ分テ 如レケル也
ツカユルノ職原ノ心ハ公卿ヲ除テイルモノノ叔公ト諸臣トノ中
分テ又四ノ等アリ四等ハ下ニ出セル先一人トイル以下四等アリ
世イニ 一人 是ニ一等 公達 清亮 是ニ一等 諸大夫
是ニ一等 侍 是ニ一等 合テ四等ナリ 此ノ四ノ品ニワカル
先一人者 一人トイフハ模範ノ人ナラ也 一処ニイフ一座ノ宣旨
蒙ク人ナラ 一人トイハ天子ノ一天子ニハ我一人ト唐ヨリ稱セラレ

四位以下 四位ヨリ下ヲ諸臣トイフニハラス令ニ 諸王ヲ除テ一位
以下スヘテ公卿モ大臣カラチ備モフメテナシケルメテ諸臣トイフトアリ
然レハ公卿カ除ケズニレハ入レテ諸臣トイフハ職原ノ此処ハサニ
ハラス下ニ公卿諸臣之中別ニ出メイルトイフハ文法ヲミルニ准
后ノ心ニハ公卿ヲニワ除イテソヨリ下四位カラ以下ヲ諸臣トイフト
心留ラレケルモ也サイワレハ下ノ公ハ諸臣トニワニ分テ 如レケル也
ツカユルノ職原ノ心ハ公卿ヲ除テイルモノノ叔公ト諸臣トノ中
分テ又四ノ等アリ四等ハ下ニ出セル先一人トイル以下四等アリ
世イニ 一人 是ニ一等 公達 清亮 是ニ一等 諸大夫
是ニ一等 侍 是ニ一等 合テ四等ナリ 此ノ四ノ品ニワカル
先一人者 一人トイフハ模範ノ人ナラ也 一処ニイフ一座ノ宣旨
蒙ク人ナラ 一人トイハ天子ノ一天子ニハ我一人ト唐ヨリ稱セラレ

五樓家ノヤウニ祿号ノ通り各ニハラスク一代々々ノ祿号ヲ
一系及堀川九ナトイロニイリ世ラノ直末九系ニツレナリ近末
イハ法性寺入道ノ子ヲ基実トイリ此カ宗領也此カ九系ノ祖ト
法性寺入道ノ子ニ基実ノ子ヲ松殿関白ト申ス此ハ家カラ
キトシリソノカニカガ月輪ノ相玉ニ後鳥羽院ノトキノ関白ニ此月輪
カ兼実ト申カ九系ノ祖ナリ然レニヨツテ近末ト九系トハ本
カノ宗領カ近末カオカ九系ノ祖ニ此ニ流氏ニ兄弟ニテ法
性寺ノ入道ヨリ二ツニカレタリ此ニ二樓家也 近末流又カ
爲ニトハ近末カ基実ノ子孫カレテ又カ二樓鳥司 普賢寺カ
熊猪鮎関白ト三人ノ近末ノ祖兼經カ爲平ト云此ヲ祿念院関

白トイフ此カ鷹司ノ元祖也九系又カ爲三トハ二系一系トカレリ
九系ノ祖月輪カ子ヲ後京極ト云此ヲ土御門関白ト云ツルカ
光明峯寺カ也ソノ子洞院ノ関白此カ九系九ナリ光明上峯寺

ノ系ヲ普光院ト云ニ系カノ祖カ普光院ノ弟ヲ圓明寺カト云
ニ系カノ祖カ也此ニ九系カラニ系カノ一系カハカレタリ俗ニ近
九ニ一鷹司トイフモソノ心ナリマツ五攝家ノ本ハ法性寺ヨリカレテ近
末カオカ一ノ九系カオカニノ此近九ノ二系カ五攝家ノ中ニテノ
先之本ノ鷹司ハオカニノ近末ヨリ後ニカレタリ中四九系カ
ヨリ又カレテニ系ト一系トカカレタリ然レトイマハ二系カオカニツテ
品カヨク鷹司ハニナカレト云此代ニヨルカ此ニテ五攝家トカレテ五ニ立
テリ于今近末九系ニ系一系寺カ代々ノ祿号ト成テ家ノ名ニ
呼フコト古ハ九系カ堀川カ西栗田関白カ松カ小蛇カカ三系
関白カ洞院ノ関白トイハ皆一代ツノ祿号ヲ代々ノ祿号ニ非
近末及一系カニ系カ九系カトイハカラカテノコトキ代々ノ祿号

ニヤラスソノ人一代ヲニテ祿号カレリ 其一族不被逐先途
撰家ノ家ニテノ極官ハ撰政関白ニナル先途トス先途トイハ家
カニテチカフニ此如ニテイハ撰家ノ先途ナルニ撰関ニナルヲ指
テ先途トイリ不被逐トハ一代ノ中ニ撰家ニムレナガラ撰関ト
ゲスニタ大納言ヤ大臣ニテ終ラレタルヲ不被逐先途人トイフニ
系ノ師輔ナドガ是ナリ撰家ノ嫡々ニテ五十五ノ余ニテ大納言ニテ
ツイニ撰政関白ヲ不任ナ終ラレリ此ラノ如キヲ不被逐先途トイフ
撰関ハ撰家ノ大事トシ一代ノ大色ニ此ヲ逐ルチ一生ノ大事成就
トスルニ終ルニ此ヲ逐ラレハ常ノ諸大臣ノ撰関ニ成ルハナラヌ家
筋ノ臣下ト同列ニ差別ハナキトセセツカク撰家ニ生レル申装
モ無キトシ他ノ大臣トハ差別モキトセ情花ナトハ大政大臣ヲテニ
任ス己チ極官トス撰関ハナラヌ撰関ハ撰家ハカリ限ルニ諸大臣

トハ清花以下ノ大臣ヲステイフソトモ差別ハ無ヤウナモノト也又虫
未遂先途トハ九氏撰関ヲトケヌハキゴモナキヲナレト元素撰家ノ
家筋ハ先途ヲトゲストイハ又他ノ清花ヤ諸家ト各別ナルヲ
イリ家督ト撰家ニ生レテ撰関ヲ任スルハツノ代ノスズ目ノ
ソノ家督ヲウケ統スハトヒ不遂撰関トイハソノ家ハ家テ各別
優劣トハスレテニサレト也他ト同ナニハ此セス撰家ノ優劣トス
レタルハ不遂先途者別ニチカイハツトニシテ優劣ニ異儀
トイフニ先途ヲ逐ト不遂トイフテ異儀ハナキト也又不被逐在
之時者年未子 枕カ世孫 ソノ父カ現在ニ撰政関白ナル人ノ子
ハ末子テモ父ノ官爵ノ者キ威權ニヨツテ 他人モラロカニ^正アミラワ
ヌソノ撰関ノ宗領ノ者カ^正加^正滿^正他人ノ枕カ^正ト^正也ト末子トイハ他^正
礼^正カフルト也撰関ノ者キ^正ヲイ^正リ^正ニ^正ス^正ル^正カ^正ト^正也天子ノ^正出^正カ^正リ^正

天下の政務をかしめ天下の人を導くは

公道なる 公道は公道を以て清く正しく

名家と別くニラレバ けいれんはけいれんは

一ツニ入レテ并せしめセシメリ 名家ハ別ニ出

ト相林ハ各別ニカラ別レタリ けいれんハ一ツニ

三家等華族ニ 華族ノ清純トイフハソノ家ガ

時々ナルトイフ徳義ノコト也 時ニ於テソノ家

ニ家ト稱スルハ中院 けいれんハケノ堂上ノ中

院トイフモハノ中院ノ庶流ニ非ズ

流ニハノ中院ハ相林家ナリ 非ニ公道ヲ清

具平親王トスル久我久ノ為 賢トイフ代ヨリ

今ハ久我トイフ代ノ稱号ニナレリ 具平親王

ハ村上天白王ノ弟七ノ皇子ニ 中務卿ニ在リ

源氏ナリ 具平親王ニ源姓ヲ賜フテ源ノ具平

親王ト号ス 村上源 内是ニハハ中院ト

イフ今ハ久我ト稱ス 具平ノ子ヲ堀河ノ

子ヲ左大臣顯房ノ子久我大右大臣 雅定ト

言フ今ハ久我ト稱ス 代ノ稱号トナレリ

作若准后モケ久我ノ子ナリ 北白ハ久我ノ

閑院 けいれん流ト云九条ノ右大臣師輔ノ

子ナリ 彼右大臣公季ヲ云 閑院ノ右大臣ト

イフ今ハ九条ノ右大臣師輔トイフ 今ハ

九条ノ右大臣トイフ 今ハ九条ノ右大臣

九条ノ右大臣トイフ 今ハ九条ノ右大臣

九条ノ右大臣トイフ 今ハ九条ノ右大臣

九条ノ右大臣トイフ 今ハ九条ノ右大臣

九条ノ右大臣トイフ 今ハ九条ノ右大臣

トイリ師輔にけは子孫家ノ子公重ナリイテ轉法輔ニ
余西園寺法重にけは家ノ田院家トイリ公重ノ子孫に命又
弟重ト云アリ弟重ノハ重ノニ非ス如ク今出川ト云シ
弟重ノ後ノウラニヨリ俗ニ呼テ弟重トイリ今出川ト云カ
号にけは西園寺ヨリ分レタリ田院ノ公重ノ流ハ右ノ家ニ分レリ
ソト今出川カ分レテ出ルニ田院ノ流カ四家ニナレリ轉法輔ニ
余西園寺法重弟重是ナリト云田院家ト稱スけは由家ノ外ニ
今ノ由家ノ中ニモ田院家ト云アリけは田院中カ分ルニ庶族ニ
北山院

花山院 系極閑白息ノ一京極閑白法堂閑白孫ノ字
法堂白賴及石トイカ法堂閑白ノ息ナリト云賴及ノ息ナリ
系極閑白賴及トイリ家忠ハ師實ノ二弟ニけは家忠ヲハ花

山院左大將長一位右大臣今ノ花山院左ノ祖にけは合セテ六傳花
にけは二大炊出ノト添テ七傳花ナリ
けは二大炊出ノ流 大炊出ノハ花山院家忠ノ弟ト云経實ト云
大炊出ノト云にけは経實ハ大臣ニテ、経實ト云テ終ニテ大政大
臣ト云ハ死存ノ賜官シ重ノ西ノ位ノ大納言ニ経實ノ父ハ攝關ニ
経實ハ大納言ニテにけは経實ノ息ヤ子孫ハ代々大政大臣ニテモスニシタリ
雖別流世存花山院一家之由云云花山院ト大炊出ノト家ノ別
ニカシタレ氏兄弟ニシテニソノ親ニテ近ク代々今ニ至ルニテ花山院
ト云出ノト云定申白ニシテ存メムト云キコトト云にけは合セテ七傳花ノ家
也今モ以テ西ノテリ 西園寺久我内大臣轉法輔ト云公重家ノ別
け家ノ任官ハ大將中將ヨリ 経テ重ノ流カケル家モナリ 又不載ノ家
テ中將ヨリスノニ中大納言ニ経モナリ 又系後弟ケテト云中大納言ト

シヨリニ公ニスミ左右大臣ニ任メ左右ノ大将ヲ擧ガシ以任官ノ昇進ノ次第ハ侍從モ攝家モカケルハナク攝家モ中将女將カラ登キ中大納言ト同ヤリニ經上ルリ參預ヲ經モリ經又モリ右大臣 左大臣右大臣ニテ進モ同リシク攝家ノ侍從ニカケルハ攝政大臣ノ弟ニテハナク侍從ハ大臣ニカケルカ是進シ攝家ハナク侍從ハ万官位ノ以テモ何モ攝家ニカケラズテ家カラノ結構ナクハ華族ノ公進家ノト稱スルハナクシテ侍從ノ外ニ唯今ハ新家ニ廣幡ト碓礮トウケテ九家ニシテ新家ニ唯侍從全ク侍從ナクシ結構御ノ家ナク侍從ノ列シ

冬

廣幡ハ八家ノ智仁親王ノ子孫ナリ
碓礮ハ一系々ノ皇基公ノ別ナリシニ家ニ合セテ九家ナリ唯侍從トス公進家トイフモカ根家ノ内子孫君進トハナク侍從氏花

族任公進家任移ス 但當時皇太子 皇孫賜姓昇大臣——右ノ七侍從ノ外ニモ天子ノ皇子ヤ孫ヤナドニ新ニ源ノ姓ヲ賜ハリテ大臣ノ大将ニ昇進セラルトキハ侍從トイハズノ自侍從シイコトモ曰格シ 若抗柄息——ト或ハ攝家ノ人ヲ抗柄トシテ攝家ノ人ノ出息ノ中ニ先進ヲトケラシメトイハク大臣ヲお結セラルカレハソレモ又侍從トイハズノ勿論ナリ侍從トイフモノソトシ先進ト攝政大臣自ニテルヲ云攝家ニテノ攝官トハシテお統將お上ノ將ハ大将ノ下ニシテ左大臣右大臣ノ下ノおハ大臣ノ下ニシテ左大臣大臣政大臣ノ下ニシテ經昇元ハイツテモ侍從トイハズ名ケテモ自カト侍從トイハズノ廣幡碓礮カ是ナリ 近代係ト云人——トハ侍從公進家ノ右ノ内院家以下七家ニ限テリ云ラズ何時モ皇子皇孫ヤ抗柄ノ息ノ將おラ經ル人ハ何十人テモ

トナレハ不致地輩トハ代々先祖ヨリソノ家ニ任之来ル節ノ
家カラミテ任スラ不致地輩トモセソノ家ニテカガフトラリニトテ
決テ昇進スルハソノ分ソノ分ニ随テイハモ英雄ト稱ス(キツト)此ノ林ハ
名ノヨリハ各別スレテ家カラウヨキクイリ君達ナシト云フモ四
系家ハ中將ヲ不致地英雄ト稱セヨト云フ也(カカラフコト)

諸大夫者 諸大夫家ハ名家ノトシ日野廣指鳥丸甘五海老一カ
平右海老堂法園等 小川城ノ多クヒ皆是ナリ南ノ川ヨリナリ公
家ノモクナリ友臣ノ昇進モ此ノヨリハヨキシ此ノ氏元妻此ノ
スリシ名家ハ家カラフコトナリ今モ此ノ家ト名家ト云ニお申フコト
名家ハ家カラフアレシモ一分ノ支分モ文藝學文藝術ヲ云テ一分ニ云フ
此ノ家ノ支分ノ支分ニカキス家カラフ日野進スルソユニ此ノ家ヨリハ名家
イヤレトシ名家ト名ケルニツイテニ説アリ一説ニ名家トハ不致

美ノト云ハ文筆ト云能スレテ我名ラアラシ家ヲ起ストイフ心ナリ此ノ大
夫ト云ハスソノ家カラフテ稱スル号ニ非不致地義ノ詞ニ一説ニ名
家トイフモ不致地ノ下ニハアラスモト此ノ家ノ家来並ニソノ此ノ
家名ヨリテソノクノテソニヨテ位ラスムモトイフ心ニ名家トイフ
ト下ノ説モソノ心ナリ先名家トイフ此ノ説トナリニ用テ不致地ノ辭ト
云見ニ此ノ大吏ト稱スルハ直クニソノ家カラフイフ名家トイフ不致地
ト云フヨリハスレテ不致地ノ下ニハナリト云見名家ノ昇進ノ此ノ中ハハ
少將中將ト此ノ家ヲハ任セスハ心ナリ右ノ兵左ノ兵右ノ兵左ノ兵右ノ大
兵左ノ兵右ノ兵參將中將中大納ニナルソノ終リハ此ノ家ト云フ止レ
ハ此ノ家ヲソノ此ノ家ハ少將中將參將ト云フ名家ハ少將中將大兵參
將ト云フヲ經テノ心ニ中大納ニナルハ何ト云フ此ノ家ト云フニ説アリ一
説ハ此ノ家ハ中將少將ト此ノ家ヲ稱テスルニ云フニ云フ人ヲ云フ云フ

ユニお林ト云テおト云字ヲ付ト云テ又従テおハ久おノおノ字心ニ非
スお翼ノおノタスル心ニ武官ニ任ノ禁裏ヲお翼中ニ護ルト
云テナリト云リ

六条修理大夫顯重條流——以修理大夫ノ顯重ノ流カ存世ハ
品カヨクナリテ 物林ニ威勢カアリテ公道家ノ列ニナリ名家ノ
ニ非スサレモ 職京ニ安職ノ決分家ガカラテ正メ出レクニナリユニ
是ハカラテ各レタリ以顯重ノ流モ諸大夫おテ名家ナリ家カラハ
ヨシカラスお林ヨリハルカニナリ 諸大夫トイフカ名家ノナリ山科
油山改更改四条ト是レ今ハ辨カラテ石経お林ノ女將
中將カラテ経ルルノお林ト同格ニナリ 品カヨクナリ 辨ヲ兼
以テ四条ノ流トイフシ何ト云ルニ顯重ヲ流ハカリガ品カヨク如ク
トイハシ顯重カラハニニリタルニ以ヨリおハ名家ナリニ以顯重ハ

白川院ノ乳母也顯重ノ母カ白川院ノ乳母也此ノト云ニ威勢カ
カヨクナラレタルモ白川院ノ流ヒキハ 顧實カ重キユニ品カヨクニナ
ヤリタルヲホシメテお林ノナニニナサレタルニ顯重ヲのめリメツキ
おカラヨクナリタツ顯重ハ四条家ノ祖ナリ けハ大織冠ヲ
六代ノ孫魚名ノ子孫ナリ 陸房大納言 陸房ハ顯重ヨリ
五代ノ孫也即陸房ハ平ノおハ清盛ノムコ也故ニイテ威勢カ
ツヨクニナリ以テカラ女將中將參預中大納言ヲ經ナリ以テ九条
ノおハ大槻秘會中ニ五節ノトキ殿上ノ座席ニテ公道家ハ滿
大夫が座ヲ讓リテ下座ニ着クハ以テ此ニ上座ヲコシ公道家ニ不儀
ノ座上ニ着クニナル顯重ハ仕出シタルト云ハ有フ以テ苦ナラスナリ
初任迄素——ト女將大將ヲ任メ中大納言ニナルハお林ノ昇進
ノ次第ニ全ク公道家ノおハタルニ顯重カラナリ 諸大夫ト云

家カラニテハハハ借上ノ一トナリ 又稱名家者 一トナリ 上使
 ト向一七世別ヤウニ書レ名ハ四葉ノ流ハ如カ名家七世白川院
 ノトキヨリ家カヨリナリテハハ名家ノ如クニシテ又全ク相林ヤ公
 直ノ如クニシテエニシヨツ子ノ名家ト云テ又又ニ世向ニ隨テ別ニ上ニ
 テ相テ名家ノ常リ諸大吏家ノ如クハニシテ又又大花御ノ名家
 ノ流ヲ名家ト云ハハ勸修寺ノ祖^{ヨシカド}トナリトヨリ九代
 ノ流ヲ名家ト云ハハ院ハ日院家勸修寺家ハ院ト云ハハ
 名家ノ如ナリハニシテカ名家ノ如シ名家モ勸修寺ノ孫ニ勸
 修寺家ト云ハハ葉家是モ勸修寺家ニ有^{アリ}ハハ孫又名家流
 大福寺日院 大福寺ト日院トニシテ又又大福寺日院トニツテ
 ケテの流一カハ稱号也今ハ院ナリ今ハ日院家ナリ之大福
 寺日院家ハ武家流 所ナカケハ流ヨリカト出ナリ今ハ院ハ
 終リ有^有ハ右大臣内麻呂ノ子孫ニ日院ノ元祖ヲ參後眞眞
 トイリテ子孫ニ有^有ハハ眞夏ヨリ七代目ノ孫也 但ハ院ハ
 儒所ハハ紀傳及ツツ中納言親宗子孫ハハ平氏ハ相武
 平氏ト云ハハ平家物語ニ云ハハ院家ノ室ニ位ノ尼ノ足ノ平大納言
 時忠ノオナリ 二位尼ト時忠トハ院家ト時忠ハ平家ハ今ハ
 大納言ト云ハハ女ノ今ノ西洞院平松ナカケ院家ノ平家ハ今ハ
 經歷傳中 一トナリハ院家ノ唐名也 刑^ハハ辨官ヤト云ハ
 五位六位ノ院家今ハ院(山井申兵衛大納言)名家ハ院家
 ヨリノホル^{ホル}トヨリメ大納言中納言ヲ經歷ト云ハハ院ニ仕テ院
 院中権左大臣院ヤ白川院トキナシハ院中ニ院務ヲ以
 ハ院中ト云ハハ院ニ仕テ院中ノ権柄ヲ執リ威勢ヲフルハ類ニ院家ノ
 如ク揚ル^{揚ル}意氣揚ト云ハハ院家ノ権柄ト云ハハ院中ニ仕テ院中ノ
 名

前ラズ之職ヲテイフ元來各處ナレバお林君道ナレバ之ヲシテモ
 アサシテ一の權ヨリ時々テ品カヨクナリトナリヌテ職系ニハ各
 處ノイフ職ノ各々ナレバ之ヲ禁秘トシ執事ニナリ白川各御ナキ
 公ノ政務ヲ院中ニテ候ハセテトキニ各處ノモノ是ラノ人ナ院ニカ
 片意ニテ權ヲトリシトシ我布累代為執柄家部司各處ハ何ヤ
 イキリテモカ根家ノ肩入ニムラシモノニノ僕奴ナレモノトシ
 執柄家ノ上根家ノ下トシ一有テ入部司トシ根家ノ家ノ礼ヲ
 執ルモ根家ノ家ノ下ヲ執リシカレモシ部司トイフ職トシ
 白ノ家ニハ死トシ替ス職トシ根家ノ家ノ家集ニシテ
 下サトリ行フモノトシハク職トシ白ナトシ部司トシハイソシ
 令トイフ根家ノ部司トシモト思代根家ノ家集トシ今ニ知部司
 トナリケレトシ根家ノ部司職トシトシモトシ不道各處トシト
 け意ハ各處トイフヲ職トシトハシ復長美ノ詞ニ不用執柄家ノ部司
 トナリ職トシトシテモ公ヲシテツノ執柄ノ家ノ各ラカウリソレニ
 ヲテ位や友ニモスムモノトシユニ各處ノ号ヲカシテハ執ニニ各處
 末尾内ノモノカラカカヲ起セリソノ口男イヤキトシハお林ヤ
 君直家トハソノ品ニカニカレト見タリけお林ヤ
 け外ノ法変家トイフモノ有る左大臣武智麻呂ノ後胤トシテ
 中園トシテ柳津トナリ有る流トシ一ハ四ノカレヤリニナリ
 二ニ品ヨリお林ノ列ノ入リヨリ式家トシテ不此等ノ三男宇合ト
 申スカ式部卿トシユニソノ子孫トシテ有る或家朝家尚家
 アリ皆兄オヨリシタリ有る或家宇合ノカレトシ京家ハ後
 北家ハ今ノ五孫家ナリ北家ハ智ニ致系回ヨメ他家ハ後
 北ノカレトシモ勢カモ品モ下レリ傳ニ傳フ春日文の神ノ神孫トシテ

高

カラヤあり岸ニ壘建テ、今必サ之北ノ為波ト云ハレ神歌ノコト
南式ホノ家ハ後(衰)テ終リ五孫家ノ三政名昌シヨクシ南式
進疑家ハ一ニ殊外ニト三リ高家ハ後タリ菅江ノ儒上菅家ハ五進
ヤ東坊城唐橋ホシ江家ハ今ハ後タリ大江姓ハ整人ヨリ始リ
昔ハ菅ト江トホ家ホ並テ雄芳ヲ爭ヒ家ナリ佛内シ或昇
進——トハ或ハ時ニヨクテ時ニテタリテハ官位昇進ノスルモアリ
或品ヤトトテ沉淪ノ品ノ下ル時モアリテハ此レモ昇進ノ時ニ
タリテ電ヲ立登用セラレトモハ名家ニ准テラテ南式菅江諸
家ノ人モ名家ナニ石仕ビテ昇進スルアリシハ古ヨリノ例ナホトニ
流傳シ又源平支家武士中——源平支家ノ武士傳ハモ名
家ノ別シ源ハ清和源氏シ六孫王ヨリ後仲頼我ノ子八幡大
郎ト初家ト次カニ傳(之)ル家ナリ平家ハ桓武ノ後子刑ノ御親

王ヨリ分シ清和ノ初ヤトメヤ政變忠告ヨリ傳ルハシ於今若断後
上平家ノ一ノ西海ニテコトクク源家ノタメニ亡セテ今ハ平家ノ武士ハ
終リハ源平支家ハ位ガラスグレズメ諸大吏並ノ別シ品カラ止リ
家カラハテ早シハ或又侯執柄及侍大名家車トハハハ後ハ諸
大夫家ノホツイクシ執柄ハ根家ノ一シ也也家ニホ入メ伺候メシカ
ハシメテ六位ノ死人トナリ或ハ根家ニ肩ヲ入レテアルソシカ六位カ
九位ニ成テ地下ニアルモアリ又スガニ院(参リテ)仕テ院ノ昇及テ
上北面ニナルシ侍中ハ六位ノ死人シ刺聴院内昇及院内ハツニ
見ルハアニ院ハ仙洞内上禁中院ト禁中トイハシ我ハ院内ト
ニツニ分テ可見或ハ院ノ昇及テテ或ハ内ノ昇及テテ全トラス
モノアゲテ計ラヌホトリケラハ諸大夫ノ家カラニ不似合リトモセカク
官外記官上官務シ小槻氏官務ニナルコト定リシ叙記ハ後家

諸君ノ次第ハ親王三公君自家諸君次第ニテ止ル古例ノ

稱ニテラサレハ

以扱^{上高}處ニ稱六位侍頗不古例然但准也目之倍所号之也
六位侍ハ推由メハハ古ヨリ定リタル稱号ニテラサレハ也東倍ニ
稱スル言ツテ倍人後ノ稱ヲ倍リ用テ暫ク名スルモ^三以^三倍表^三兼^三
推由ニテラサレハトシ諸君次第ノ子孫ノ畧量アルモノハ六位
カラク鐘ヲ勤怠モク侍ト稱ス弘安之比一弘安礼節ト書一
冊アリ各札ノ礼ヲ定ラレシ六位ノ下北面ト書レタリ下北面ト書
院ノ侍ハ北面ニ對メテ昇々セサル即今親家^三家ノ家来^三五
位六位ヲカレハ下北面ノ侍也

又公家稱諸司官人是也 以^三如^三ノ公家トイフハ^三按^三ニ^三林^三中^三ヲ^三扱^三テ^三イ^三リ
大公ノ如トイフ心ハ^三如^三運^三ノ^三如^三首^三層^三大^三全^三三^三大^三臣^三如^三ヲ^三扱^三テ^三云^三ト^三ハ^三ハ^三

大臣如^三ガ^三リ^三ニ^三限^三ル^三ト^三ニ^三テ^三ラ^三ス^三按^三律^三ノ^三ト^三公^三ト^三イ^三フ^三推^三出^三ノ^三の^三謂^三ト^三也

ニモ^三比^三る^三出^三テ^三リ^三諸^三司^三ノ^三安^三ハ^三皆^三六^三位^三ノ^三侍^三ノ^三兼^三ル^三後^三也^三 亦^三卷^三三^三一^三配^三セル^三ト
ヲ^三リ^三シ^三ユ^三ニ^三諸^三司^三ノ^三安^三今^三ト^三イ^三ハ^三五^三位^三六^三位^三ノ^三侍^三ノ^三ト^三ニ^三志^三ソ^三ユ^三ニ^三諸^三司^三ノ^三安^三今^三ト^三イ
フ^三侍^三ノ^三ト^三ハ^三侍^三ト^三稱^三ス^三ハ^三親^三王^三ヤ^三大^三臣^三下^三ノ^三侍^三如^三ニ^三モ^三公^三ヲ^三ス^三恪^三勤^三
ノ^三侍^三ノ^三名^三ト^三也^三 抑^三又^三女^三公^三ヲ^三ト^三メ^三テ^三勤^三仕^三ニ^三不^三懈^三モ^三ヲ^三恪^三勤^三ノ^三侍^三ト
也^三 以^三中^三賞^三諸^三司^三ノ^三安^三放^三均^三古^三来^三ノ^三例^三也^三 以^三中^三ハ^三五^三位^三六^三位^三ノ^三侍^三ノ^三中^三
ニ^三テ^三同^三シ^三侍^三ト^三モ^三代^三諸^三司^三ノ^三安^三既^三ス^三ル^三也^三 放^三均^三ノ^三例^三也^三 然^三レ^三也^三
是^三尤^三ト^三シ^三諸^三司^三ノ^三安^三代^三ノ^三勤^三メ^三任^三ス^三ル^三也^三 代^三ノ^三侍^三ト^三也^三 放^三均^三ト^三
ソ^三ノ^三代^三ニ^三ア^三ラ^三ス^三他^三ノ^三モ^三カ^三 亦^三風^三己^三カ^三身^三ニ^三ト^三リ^三テ^三一^三代^三ニ^三代^三テ^三ラ^三カ
リ^三テ^三侍^三ト^三ナ^三リ^三六^三位^三ニ^三任^三ス^三モ^三ノ^三ヲ^三放^三均^三ト^三ス^三ソ^三ノ^三如^三ス^三テ^三代^三ノ^三モ^三カ
也^三 亦^三侍^三ノ^三六^三位^三ニ^三任^三ス^三安^三ヲ^三ト^三メ^三来^三ル^三モ^三カ^三ナル^三ハ^三法^三式^三也^三 然^三レ^三也^三
不^三放^三均^三ト^三イ^三フ^三モ^三也^三 他^三ノ^三モ^三ノ^三任^三ス^三キ^三如^三ニ^三モ^三ア^三ラ^三サ^三ル^三モ^三ノ^三父^三祖^三ヨ^三リ^三任^三ス

ユトハリと然レハ非敢語上ノ御史ノ終ニ付テ全部ノ総論ニ誤テ
重責アリおけ或人情同トイハ唯后ノ謙辭し實或人情ノ
々々ニ書レ名ニ耶南初中創トキテ記録文書ノレヨリトシタ各モ
才主ニ朝廷ノ叙位降目ノ任ス筋モ有ルニ後代ニテノ々々ニ以テ
おレタレトシ然レハ實ハ叙位降目ノ有レタレ書シ欲レ口實一
傳口實ハ口實多傳授スレトし貽手決トハ書ニ筆をクイリテ口ハ
口ヲカラ云信クテ傳授セトスハ吾知扱メテノ隠況ニ似タレテ
拙又一部ノ書ニ筆メテ後世ニモ貽サトフモハ女筆ニ拙ノ事也
ノ後リ傳セテテ勅トノ予長出信塵出信塵トハ出カセシ
ククイリ准后親房ハ元徳三年ニ出家ノ宗云ト号ス又應應三
年ニ城島歎ヲ作レリ已後十年ニ寒暑出家セテテヨリノ角
十一年ニ十年トイハ大收スレテ一ノ次ヤ逆旅ノ中ニ書レ女書ノ考

索ス(キモノヲモ携ハス)巳二十年未安位ノクニ疎ニ又イハヤ旅伯文
執ノの考ナシ毎又荒忽トハヲホメキホレテ分四ヲ以上ニ業ルユトト上章
爾雅ニ庚年ニ執徐ハ辰年ニ夾鍾ハ二月ニ候豫ハ自二月節當ニ大
九日廿日候豫 沈翰翰ハ之ヲ云見引餘習ハ巳ニ志家トテ倍
塵ヲホメキホレテ往昔ノ餘習ニ引サレシニ不得點^ネトシメテ各ヲ編
メ後ノ喟ヲ不顧トシ此不顧後喟耳ト云下ニ旧也ヤ中家ノ如ニハ
一品大納言入乃親房ノ九字アリ今ノ如及既書ノ如ニ皆脱ス
當補入
けあ事申 多定種姓云々 け一辰也ノ疑ノ上下事未ニ後ニ附ニ
候テけニ唇タリ けハあノ安藏ノ各列ニタレ出カテテ一都ノ出カ
ヲ断ル信ナリ疑アリ 下ニ見キトニアラス 恒後跋上 種姓ノ信家ノ
一也任乃既不如今案トハ古未例モヲ引テ一モ准后一ヲテテ

ヲ加テ今當テ雜入レストシ 柳歴名一 曆名ハ安位ノ名ヨリ
位ニ經歷ノ昇進スル者ノ一也 亦一親王諸王并ニ公卿并ニ方四諸
位ト上テ下テ列スル今又ハ一人一 公諸位ト上テ下テ
キニケテ又一人ノ公也 亦一トイ、諸大夫亦ト書クハ右ノ公卿
諸位ノ中カラ分テヨカニ別テ稱スルハソノ公カラ分テ任友ノ
筋ヲ知ラズメタメシトシユニ分別メ各トシ 分別トハ一人ノ公也トイフ
ヤウニキルハ亦亦ノ公諸位トイフ中又分別メヨカニ稱スル者
ケル所ノ下也 亦ノ断シ各編ヤリ出テ分列ヤリノケテイテ
ケニ致ク隔テハキニテラアケ 稱メ各トシ

元禄十三年己卯七月廿五日奉移御印

平安惣菴松玄達成章述

職名抄口訣書之六

右尾

職名抄桃華禪園遺加合私記

元禄己卯七月廿五日於書長志

正一位 正位ノ字トヤリトシテ 正一位ノ始ハ橘ノ諸兄アリ正
一位ハ生カニ任スル終メテ了シ多クハ死後ノ贈爵也 或ハ神社
ニ送テ了シ百寮列西ノ故ニ神社ノ位階ニナリトイフ又テ神社
ニ位階ヲ送テ了シ早キ位階ヲ賜フカケテ不審テ了シ社送元
ルカラハキ位階ヲ賜フキフナニ早キ下下ナリト別ノ了シ神社
位階ヲ王ル位階ヲ賜フキフナニ早キ下下ナリト別ノ了シ神社
或ハ所或所トシト位階ヲ賜フキフナニ早キ下下ナリト別ノ了シ神社
位階ヲ賜フキフナニ早キ下下ナリト別ノ了シ神社
正一位ハ神社送元ニ限リハセテ人位テモ大臣ノ贈爵ニ下ナリトシ
叔正一位カ生カニ任スルセテ早キハ亦其人ニシテ任人アス今テモ

の任了し大政大臣ヲ即勳官トスル同列し正一位モ生あ二任せざる
ルハ即勳心ナルニ或改ニ種ノ位階トキハ正ヲ法テヨクニトイフ
け説不經安説不の信用 社社トキモ人臣賜爵ノトキモヨクニカ
ハ凡テラス凡ニヤウト法リテヨクニ古來ノ傳本ナリ 唐名文教位
スレテ教ノ字ノ付ルハ位階ナリニテ職ノナキヲ教位トイフ文教武
教ハ文官ノ教位武官ノ教位ニ教ニ教之位ルハ皆同ニ唯大臣
ナトモ教位トイフモノニ父ノ大臣ニ准メ職ナシトモ公家ノ老人トハ一
位殿ナトヨブ皆位階ハカリ申テ官職ノナキヲ云ハス凡テ井一位
ナトイフ是也

後一位 人臣任ハ後一位カ極々ブ
天平十一年ハモ法足カ叙せざる初シ大臣ハ十年之学必叙
一位必カタリ十年ト限ルニニアラズ十年ヨリ内七八年ニテ叙せらる

先大法八十年ノ学ヲ子ハ容易ハ叙せし時後ヨリ時ヨルニキ
ニモルニキ一ノ大納言トハ後一位ヲ叙官ノ任名例ナリ弘安六
年基具公カ始メし官ニ叙せざる始メし其後ハ基具ヲ例
ニテカ人カ皆叙スル位ハ攝政ニキルハ法死モ任基具公法
花ナリ具守モ法死ハ現任大納言トハ現任ハ當官ノトキ尚官
ノ大納言ノ叙セル始メ具守公也 近代官房ハ各家ノ官房ノ
太平記ニ出ス差層官房ト出テアリソノ人ソノ末後一位ノ攝政ノ
叙ス位階ナルノ各家トハトノ叙スルハ公家ノ至リトシ嘉元二年上意
ハ誤シ正安元年ハ公卿補任ニ法ニ正安元年ノ四月ニ叙せざる
出テアリ 禅因ハ拙学強記ニケライ一ニ考ハス時彌ノ中ニテ
日レ名ニニ也ノお通ハノ事又時代ヤ年号ノイハ下ニモアリ
都テソノ拙学強記ハ是ニヨリテ知レテ具守公ハ基具公ノ子息

如以撰家清花ノ衆ノ叙スルハヅラ官居房ハ其名家ノ叙スルヲ甚意
ノコトニ具守基具氏ニ村上源氏久我家トシテハ之ヲ系重テ之考

正二位

上柱国

ヤウナリヨリ上下ニスニテウ統ヤリチウコトニシカス

大宝ハ文武ノ階ヨリ正廣ニハ古ノ位階ノ名ニ天武ノ年四十八階

ヲ立セリ正廣一正後ニ正廣之ナトイフ也其八階ノ中六ノ

位階ニ正廣ニカ有ルノ久治比ハ氏ノ名乗ルシテ人ノ戸ニ

法家ノ氏ニ嶋ノ字添リテ云シ嶋ノ字ト傳シ中家ニハ正廣

ニハ法テウ統文武ノキニ正廣之ノ位階ノ名ヲ改テ正二位ニ叙

セリ

長二位

文武ノ年以大細云ハハ略上ト例シ始テ叙スル人

ノ例ヲ奉ラセリ且下等ト何部ト主人ニヌシトハ子テヨム也ナリ

ニヌシトヨムカラス

散正二位

世正二位ノ位階ハカリニテ後ノナキヲ散正位ト云フ同長

二位ノ散長二位ノイハ延久師成ホノ諸人ノ傳ホハ首脊大令ホニ出

テ考不替子ハ散正二位ト云フ首脊大令ノ説ハ誤リ首脊ニ散正

二位ノ謂官卑而叙正二位也其有官非公卿官別為散正位

ハ説大ニ誤リ二位ニ任ノ人ハ参預已上ノ官ニ任ス人ニシカニ父

位階ヨリニテイテ官ヲ任セラマセ也横ニ位持ニ任ト云フハ又別

ノイハ公卿成ヘキ人ナラヌ下ニ偏院ノヲ指ニ位持ニ任ト

イフ散正位モソノ例ニ任セラケガホリ非参預ノ四位ト云フモ同

例ニモ云フニ非公卿之官ト云フハ大ニ誤リハカ公ノ官ニテラストイフ

ハナキリ是シ誤也云フニ二位中將始賴宗公ニ二位中將ハ

撰家ノ家ノ人ニ非サレナキナリ中將ノ位階ノ名ハ四位ニ任テ

中將ヲ任テハヨクハカラスヨリナレハナキナリハ諸家ニ任テ位階

ノ祖^{武智}智^丸トイフアリ^{タケチ}コト^口流^ム者^テモヨ^ミシ^モ唱^来元^{武智}
丸^{トイフ}ソレ^ニ混^メア^レキ^シ机^ニ三^高布^ハタ^カイ^チト^唱シ^テ武^智丸^ハ大^織
冠^ノ出^ルコ^ト也^ハ中^將一^一中^將ト^{イフ}ハ^也中^將ト^{イフ}ハ^也中^將ト^{イフ}ハ^也
三^三追^追中^將ヲ^兼任^任例^例始^始イ^リ之^位中^將ノ^一之^位中^將ハ^也
撰^撰法^法ニ^家ノ^任ヨ^リ外^ニ他^家ノ^モハ^如又^外ニ^キ例^例ハ^原係^係公^公嶮^嶮
峨^峨天^天皇^皇出^出子^子ナ^リ信^信公^公親^親王^王カ^涉至^至テ^居之^カ未^未考^考ソ^レ惟^惟ニ^瑞王^王カ
之^之嶮^嶮峨^峨皇^皇ノ^出子^子也^也正^正之^位左^左中^中將^將ナ^リハ^ハ信^信王^王ノ^任例^例イ^リ信^信
公^公方^方皇^皇子^子ノ^任例^例始^始シ^シ依^依彼^彼例^例ト^{イフ}信^信公^公ノ^任例^例中^中將^將セ^キ先^先例^例依^依
テ^シ東^東之^系系^系関^関白^白云^云云^云ケ^ル人^人臣^臣ノ^任例^例中^中將^將ノ^任例^例始^始シ^シ兼^兼任^任セ^キナ^リ
東^東之^系系^系ハ^大入^入凡^凡之^ノ一^一也^也其^其後^後扱^扱柄^柄ト^{イフ}扱^扱柄^柄ト^{イフ}ハ^凡人^人
ト^{イフ}ハ^モ法^法花^花ノ^一ノ^一イ^イ作^作者^者カ^一系^系彈^彈固^固撰^撰家^家ノ^上カ^ラナ^レト^{イフ}ハ^法花^花
ヲ^凡人^人ト^看レ^タリ^トモ^書大^大全^全ノ^凡人^人ノ^任例^例ハ^法花^花ノ^撰改^改固^固白^白子^子孫^孫ト^{イフ}
皆^皆凡^凡人^人ト^{イフ}リ^トケ^キナ^リト^{イフ}ハ^不可^可説^説ノ^説ナ^リ之^位中^中將^將ト^{イフ}ハ^他
家^家ヤ^常リ^公卿^卿ハ^ナク^ナリ^ト撰^撰家^家ト^{イフ}ハ^法花^花ニ^限ル^ルト^{イフ}ハ^凡人^人ト^{イフ}ハ^決
法^法花^花ヲ^撰メ^ルハ^世ハ^キユ^ユト^{イフ}之^位中^中將^將ト^{イフ}ハ^凡人^人ノ^任例^例ト^{イフ}ハ^決
ソ^レ法^法花^花ニ^テ任^任ル^ルト^{イフ}ハ^常ハ^ナク^ナリ^トケ^キモ^他ノ^任例^例ト^{イフ}ハ^凡人^人ハ^法
花^花ニ^テ限^限ル^ルト^{イフ}ハ^法花^花ノ^撰改^改固^固白^白子^子孫^孫ト^{イフ}ハ^常人^人ト^{イフ}
カ^ハ法^法花^花ヲ^凡人^人ト^看レ^タリ^ト撰^撰家^家ノ^任例^例ト^{イフ}ハ^法花^花ニ^限ル^ルト^{イフ}ハ^凡人^人ト^看
ル^ルト^{イフ}ハ^毎度^度ア^リソ^レハ^他家^家ノ^任例^例ト^{イフ}ハ^合テ^イケ^ルト^{イフ}ヨ^クト^{イフ}ハ^法花^花ノ^撰
別^別家^家ト^{イフ}ハ^撰家^家ノ^任例^例ト^{イフ}ハ^法花^花ノ^撰改^改固^固白^白子^子孫^孫ト^{イフ}ハ^常人^人ト^{イフ}
法^法花^花ノ^撰改^改固^固白^白子^子孫^孫ト^{イフ}ハ^常人^人ト^看レ^タリ^ト撰^撰家^家ノ^任例^例ト^{イフ}ハ^法花^花ノ^撰
自^自ヤ^トカ^叙ス^トト^{イフ}ハ^中將^將者^トハ^之位^位ノ^撰改^改固^固白^白子^子孫^孫ト^{イフ}ハ^常人^人
ノ^撰改^改固^固白^白子^子孫^孫ト^{イフ}ハ^常人^人ト^看レ^タリ^ト撰^撰家^家ノ^任例^例ト^{イフ}ハ^法花^花ノ^撰
已^已ト^{イフ}ハ^撰改^改固^固白^白子^子孫^孫ト^{イフ}ハ^常人^人ト^看レ^タリ^ト撰^撰家^家ノ^任例^例ト^{イフ}ハ^法花^花ノ^撰

規模をトソトシザレトトラスムニ 傳内ノ久ヤ神祇ノ吉田サ秋原ナレ
トカ教之任ニルト久シ神官ノ久ナカ老年ニ至テハ父ノ官ハ辞メ位階ハ
カリク叙メシトシ教之位ニ職ナシニテ、之任ニテ先シ順徳院法記
ハ禁秘抄ヲ云 生公セシノ辭首昏大金ノ説ニ人生ノ字ヲ叙記不
明白首昏ニ零落ノ事ヲ多公道家ノ末流ノトイフリ零落ノ
叙ニアラズハ或ハ元來歴々ノ事カ中級ノ久ク不任メ祖考父代
至テ又新ニ君道ニナリタル人ヲ云或ハ中ノ中級ニセヌノセサクナシタ、
祖父ヤ父トキカラ君道トナレル人ヲ生君道トイフシ生ハ新ト云 熟
字ノ久シ昔ナカ其代モ七代モ十代モ各各ラ公道先カハ熟公道
シトニアラサルニ三代ハカ父君道ト下級テ中將ヲ係ト東ルル事ヲ生公道
トイフト見ルカ生ノ字ノ意ハ白ナリハ君道ハ清花ガリイニアラス
清花テモ御林家テモ祖父代ヤ父ノ代カラ公道ノ列ニテ中將ヲ係
来ル人ヲ生公道トイフシ 中將ヲ係ルハ君道家御林カハニアラハ
不係ノ各家ナトハ中將女將ヲ係ルトカナラヌツ 或下或上 今ノ補署
毎年ノ官位ノ考テシテ三ヨカ加ラノアキキ人ヤゾノ事ノ也 熟ナキ
人ハ中將ト下ラノリミク他ノ官ヲノルニルハ不階ノ階大方一向ニハ教
ニ任テハ位階ハカリカケテ有職ナキニニ林家中ノ役カニラ成番田ヲト志
ルニテハ官令テモ公ノトキテモ何ソトメモナク教之位ニ入テアルトキハ
ガリト幸モ十年モ女位カ不昇進アラリトシタレモノハ何モスニ
于今公家衆カ之任ノ淵トイハレソニ任ノ淵ハ入タラズヤト出世アル
ニイソトイハレソ物外イヤカレトイハレ 越ハ境トハ大方カハ教之位ハ打
コニソソカ大方ソカカラカヨキ人ハ中將ノ女將トトテ女ヲシテ
不備離ニ及 一及リ御林家テハ中將ハスニカ一乃シ各家辨方テ
辨方ハスニカ一乃シ 細字ニ中將辨トアリハカニ及トイフモノハ各家

身多事多アミケハエスニエソ中ニ年モヨルユニセヲ
ケ教之任ノ中
(入テラレト)

清隆——去辨ハ各都ノ任ハ年ナレモソニエスニエテ去リ中
將ハ羽林ノ任ナレモ工任セスメ去リソ人品アシクナリテ何ノ益ニタ
出申昨木之タトノトシト山中昨木ハ莊子ニアリ役ニ立ヌモ
タトナリ塵土出ヌ塵土ハ諸大夫ナリタクモ地下ヨリソク
出ヌノ公卿(入ルカ諸大夫ナリト上ニ出ヌ也公卿(入タケ
入ラレヌニゾシラシ出ヌルハシメニ教之任ノ中(入テラレソカ
昇進スルゾシガゴツハシメニ極清花ナトモ雲霧ノハ家カラ下リテ
ケ中(入ルソ万人ハケ境ありトハ諸家ニ名家テモ諸大夫
ケ境ハ夜ヲイフケラ友職昇進ノトナリ及トメテケ(入ル
事柄人柄ノ不勝モノハ極クニ公卿ニシメテ先ケ(入テラレト)

大將ト
由年世人カケツニ位満ト云一タヒ入テハ清ニ出ルニ難キ義ナリ今ニ
除ケリ大將ハ格別ナリ任ナリ他ナラヌ
大納言公卿血衣モイハルノゾカガラノヨキ人ハケ(入ラヌニズツト友ニエムソ又
ハ入ラヌナリ後カキニ常ハ除クソタ、菅原ハカリイニモ女納言ヲ任スルハ女納言ハ女業ノ
事ヲ家カラアシテモ他ニスル、品置重アルハ入ラヌニスムモアリ又品置重アル
事ナラニ菅原儒内ナニニカ納言ヲ經ルナリ
リテモカカラテ入ルナリ

正四位 け辰卯白ナリニ義義

正四位下

從四位上 美成任出ヌ 去任テ四位(入ル)ニ六位立モアリ公

卿ハ大方五位立ニ六位立モアリ去任任ニ次中ノニニ叙又法曹
ハハ法乃ノモヲイフシ 侍ハ地下ニケラノ四位ニテモルハ隨分ノ
抽賞シキオシ法曹乃ヤ地下ノ侍ハ五位カワバ九ニ四位ニテノ
オハヨクノ抽賞ノ義

正五位上 去任職ヲ繼テハ死ハナリシ史ハ大使ナリ

以上十八階位也 以上六位ノ位ニテシテ諸官ノ位階今ノ世モ皆
立六位立ナリ 大概ハ五位立シ親王諸王ハ四位立シ諸卿ハ
五位立シ凡ソハ六位立ナリ 六位カ極メシトシテ下ハナシ七位奉
少ハキツユニ毎年ノ御署ニモ七位已下ノハ不載ニシテ諸卿ハ六
位カ限リテニシテ以上十八階トメテ、終ラフ首各ニハ六字カ
不列ノ條ニテ曲後クマリ不列用何ノモナキナリ

正七位上下

左七位上下

左女史

右女史 大政官ノ由史ナリ

トイフハ何モ曰

陰陽及漏刻博士

大上ト云大上極上也ノ

極上ノトシケルハ七位也ナリ

正九位上 正九位上下ト云ノ又下ニ大初

位上下ト云セタリ 重獲シ大初位カ即九位ナリ正九位ノ上

大初位ノ上下ノ内ニモモルノ大初位カ初位ニ各上下アリケノ正

九位上下ハ刑リ去キフソノ筆執カニテセテフト書レタル口説ソ

九位ト大初位ト別ノトニ非ス

大初位上下 即九位ニシテ大ト云トナリ 正位ノ意ナリ

下西ノ目ガ九位ノお菊ナリ

已上ニテ階位

院廳

イニノ、点ハヲ入テテノ流イニキヤリト云ムカラス 廳ハ三リコトヤト云

ス院中ノ政務ヲ行タル、処ナリ禁裏ノ大政館ノ如シ 昔ハ院ニ廳ハ

ナカリトシ白河院トキヨリメ院中ニテ政務ヲ治セタリ、ニシテ院中

ノ諸官多ク置タリ大別者ト云カカニ也 けカ物外ニ大ナルモノニ檢

非イ使ノ別者ヤ凡ソ人新ノ別者ヤナト、同コトノニ並立ツ大ノ字

カハ禁裏中ノ別者トカワリテ、別者ニシテナリ 院ノ別者ト云

たしはか切参ノ礼式トモノ

曲侍一人 スケシ尚侍ノスケシモシ尚侍ナケハコガカリテモ ツトム
ルツカニ職負合ノ職掌人全ク内侍ト同トシ

掌侍 シヤウ けカテウリテヒト三ノ一切ノイラケカヒトリトツカサトルトシカニ

夕、既ツトシカリシニ内侍トモケ尚侍ノフニルン今以テ内侍

ト呼フハ尚侍ニアラス掌侍ノトシケ掌侍カ四人アリソ四人トモ

上臈ヲモ格局トイフシ江戸トノ津東シモテムキカラ来ル状ハ女フ

ニシテ昏テケモ格ノ局ノ名宛ニテ来ルソソノ返ルソハケ掌侍

カ返ルソ昏クク返ルモ 或ニ武家ノアテ名ニハセヌモ傳奏カソ

状ノ紙ノ端ヲ断チ切テ名ヲ書テ江戸(遣テ)江戸ヨリ来ルモ

返ルモ皆女ニ昏テ立文ナリ 甚返ルソハ立文下着スレハ

公方出キ水ヲ石ノ礼服ニテキツト頂戴アリセテ出立後、上三桐ヲ

カキムルトヨロリソノ桐ノ上へ京ヨリノ出立ハコトク奉テ密セシ、トシ

特叙ニ扱ヒ玉フるシ 此返ルハ何クテイラセシ天氣物更ニホシメシ

ソロトイフヤウナ文法ナリ 武家ヨリノ女ノ返ルソ列文テ昏クシハヨキ

意キ表立ル後ナリ 皆ケ掌侍四人ノ上首ノ女房ノ後ニ参儀申納

云テモスソ平家管家ノ人モ任ス局ノおニモキ格アユニモ格

后ト稱スハ名ハ勾当内侍シ 此ハ傳家ノ位階ヲ申荒、モ長

格カラケケモワレ、トシケテ申入スソ

女孺 メウ ヲシナワスハハ品ノ卑キモノシ

花司 ハナノカサ け以下者ニテヨモスニメ、クラツカサフニカサクスリノウサツ

ハモノツサトヨムシ

尚死一人 掌祈雨玉 祈雪 首昏ニニ程祈雪ノ祈玉ヲシ

イルハ非シケハ内印ノイシ位記ニ押ス外ノ印ハ女納メカワサトルソ

イフヲ首層ニ医ツ学入ルヲ引テ 熟粟米浸水待醱 而以其汁入
諸食消熱毒 必しも不化ハ引合スルハアト、將氷ハタ、水ノ
成章梅スニコズトニツトニニメの見

雜粥 ハカユ水キリタテニヒツモ 兼テツカニシ 將水ハカニ
タリタリ タ、水トカリノナラ水トル(キニ將水トルカハ 將水ト水トニ
トの見ノ初メノ此水洗水ヤ 或ハ氷ノイヤナトモ 皆アツリ 知ル
膳司 カニテ膳部方イ

掌和膳部 皆職負令ノ職掌ニ也ニ引用ユ
先嘗トニヲニスルコ

米女六十人 米女ハ膳アニアリカニモノシ 云ハタメ婦ヲイフス米
女ト云セリ 米女トメ婦トソリ品大抵アヒ似名モノシソ内米共女
孺ヨリモ女シ品カヨキ 米女外ムキノ部膳ツツカサトソ

酒司

尚酒一人 掌釀酒之事 釀ハヒトヨザケ 酒ハ常サケニ板鳥ニ
釀酒ト云スルハ口ナリ

縫司 尚縫 掌裁縫 一 綦組クモノシ 縫司ハ縫匠寮
ノカサトリト同ソノ御ミヲ見 女切ハ女ノ紡績織縫ノ課役ニ
ソノ勤惰ヲ知リ尚縫掌兼女參見 一 兼女ホノ初參ス
ルトキノ比テ初スモノ、道守キ兼内ホク尚手トルシ
掌縫 ニツリコトヒトシ 尚手以上ノ諸官ヲ職アトイフシ 花人ヤリ
花モノノ役目ノ多キモノシ

右膳司掌以上 一 尚手侍尚手膳 尚手縫ホノ尚手ヨリ上ヲ
職アト名ク花人ノルイ花モノシ 自兼ノハ教アト云也 教トイフモ
シカリトニタル 役目ナク 職掌ナクタ、數ニツハリタニテシ 皮ナ

帯ナリ古ヨリ法性寺ハ妻帯シ法性寺ノ跡ハ今ノ東川至東
馬谷ノ旁岡崎村是其旧跡シイハちハ後テ之ヲ岡崎村
ト呼フ^{（俗ナリ）}披察ノ位ケモ女官ノソノ人ノ呼名シケハ大僧正雅圓ノム
スモ久我多ノ子孫ナリケハソノ位ニ任タリトイヘ不入夜出殿
不取劔玉取成殿ハ天子出シタル殿ニ劔玉ハ天子出座ヲ伺フ
座ニテ侍ノススハ夜ノ出及ハラス劔玉ヲ執ルハ傍ノムスヤレハ侍
祓乃ニ忌ムキナリナリ^{（近代ニ任濟グ）}近代ハ女官ノ位ニナリナリ
濟ハハ多キ息ノ位ニ叙スルハ女房カ多ク下シ^{（東宮ニ侍ル）}東宮ニ侍ル
少シ^{（七世宮ノ乳母ノ女房）}ヤ親王ノ乳母ノ女房トカニ位ニナリソノ院ヲハ女房
東宮親王ノ
乳母ノ位ニ叙スルハ是非ニ及ガレシカヤリニミタリニ位ニ叙スルハ
一ニハアキルニトシ仍禁中濟ダトハ院ヤ東宮ノソノ終ノ女房ナク
之位ニ叙スルカハ禁中ノ女房ノ位ニ任ルモ多キハ勿論ニキトニ有
ルヤトイリ^{（禁中ニ位ノ多キハ不足怪ト云々ナリ）}

先帝典侍^{（先帝ハ後多羽院ヲ云）}内侍ノ典侍カ先帝ノトキ
禁中ヲテケルヲ^{（苗代ト）}苗代トナシ^{（苗代ニ侍ル）}苗代ニ侍ル
ハ^{（禁中ヲ着ヌ者ト）}着ヌ者トナシ<sup>（此ルソノ法ハ禁中ヲ着テ参内
ヲスルハキトニテ着ヌ者トナシハ止テ推出メ着テ参内スル
甚不法ノ事ナリ）</sup>權中納言ノ狂者<sup>（權中納言モ女房ノ名ナリ狂者
トハ法ヲミタカニシテソノ控ニ不随モケルコトニ狂者ト名セリ）</sup>
ケカ禁中ヲ着テ頻リニ豫多ク参内シ<sup>（参内ハ出立ニナキニ
ケルハ不法ナリ）</sup>ノレワサナリ^{（ケルハ例トハナス）}カスト也<sup>（スレトイフモ
サレ出テケカニ法ヲ用ルモノシケレテモ割方ナキモノ）</sup>建曆ハ順徳院
ノ曆早也^{（左衛門ノ督）}督^{（ケル土出）}院トキノ上臈トシ<sup>（親兼ノ
ケル）</sup>親兼ハ今ノ水之原ノ先祖ナリ^{（許一院ト云）}

カフイテ 聴せ名工ニ禁多ク着タリ 以ハ親兼ノ女ナトノカニ道カ
トシケラ常ノ例トカラヌリ 院ナトノヒイキニテ出サシ圖アリ
元サレハイカウノ人モ着テ一サレケラ右カノ儀テ非常法トシ
云ニハ例トナラヌリ 其後又中宮カ房檢察 中宮カ出ノ中宮カ
ニ道ノカ房Pセトイルカ房儀 正儀ノ事ナリ 是モ禁多ク着テ
参内スハモ常ノ例トナラヌリトホトニ別儀歟 各別ノ事トシ 但
乱政ニ——カ禁多ク着ルハ元來朝廷ノ政ノ乱ルルカ
トシトシ法度カ地味ナリタラ 但自中宮出カ—— 但ニ件ノカ
房ノ禁多ク着テ参内スルハ中宮ニテ 禁多ク着テ着テ中宮カ
ラカニ使トノ参内スルニ何トナリニワカニ 聴キテ着替ヘシユニ
着カラスカニ参内スルニテモアカトシ 建曆比 尚經ノカ禁
多ク着テ親兼ノカ聴タリ 尚經御ハ花山院ノ親家綱ノ

カニ法度ノカナリイウ、ハカスルカカモヨキホトニ 禁多ク着ル
一キトシカニニケサニユラニニ 親兼ノカノユリテ着タルハナリ非カ
ノトシ親兼ハ法度ノカ聴タリ 尚經ニテカカルカカナリ 何カ聴カ
非カノトシケラノハ申ク 各別ノ儀トシカ 常カトスルニ不足子細ニ
不及トシセシギニテモナキナ

小上臈 上臈ノ次ノカ官カテカ

不謂カ言カトハ 尚經ノカ自カアヤソノカヨキアキノカニナリカ
卿ノカハシカテ小上臈トカニ 減カハ常ノカハナラヌ
表カ着ハカナリトキニ衣ノ上ニ着ルカ 五カハ倍ニカラナニトノカ
下カ上ノカカニカカ着ルカ 下ボト衣カ長クシテ着上カト 次カニ短
クシテ着ルカ 何カカカト 三ナリ 乙ノ字カ 尺トニナリ 退カカ
下ノ衣カ長クシ上ノ衣カ次カニ短ク着ルカ 何カカトイフカ 尚經ノ

退ケ着心し

五重ノ名 下ニ衣キヌ ソノ上ヒト 單ヒト ソノ上ヒト 袷ヒト ソノ上ヒト 上着ウキ

又上ウキ衣キヌヒイフソノ上ヒトニ小袷ウキ 袷ヒトノ字ヒト 打ウキ着キヌトヨナリ

大袷ウキ小袷ウキ

女官メカサハカサメニ不限人言リ 七ツ着ルモアリ 十着ルモアリ 上ヒト（カサ子キ
ル下ヒトハカク上ヒト六程クメ着ルト曰フ） 織物オリモノ禁ヒキ多ヒキホハ常ヒトリモハナラズ

聽ヒキノ邊ヒキハキルノ常ヒトノモハ平絹トテ絹ヒトソノ上ヒトニ 紋ヒトソノ上ヒトニ 紋ヒトソノ上ヒトニ 紋ヒトソノ上ヒトニ 紋ヒトソノ上ヒトニ

キルフサレキオト 織物オリモノ禁ヒキ多ヒキホハ常ヒトリモハナラズ 紋ヒトソノ上ヒトニ 紋ヒトソノ上ヒトニ 紋ヒトソノ上ヒトニ 紋ヒトソノ上ヒトニ

物モノノ多ヒキヲ 扱ヒキ書ヒキモホセノ服ヒトモ 夏ヒト冬ヒトニテ 扱ヒキフリ 侍ヒト臣ヒトノ女メ

侍ヒト臣ヒトハ 厨上ヒト人ヒトノ之ヒトホモ侍ヒト臣ヒトトナリ 公ヒト進ヒトノ女メハ勿ヒト論ヒトノトモ子ヒト口ヒトモ

サナシニ禁ヒキ多ヒキホハ着ヒトルトナリ 侍ヒト臣ヒトノ 公ヒト卿ヒト孫ヒトトハ侍ヒト臣ヒトノ孫ヒトトナリ

公ヒトノ孫ヒトトナリトナリ 小ヒト上ヒト臈ヒトトナリ 或ヒトハ中ヒト臈ヒトトナリモハ父ヒトノ女メノ女メトナリ

父ヒトノ女メヨキトナリ 女メモ品ヒトカヨキニ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

二ヒトノ侍ヒト臣ヒトノトナリ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ 侍ヒト臣ヒトノ

比ノ字ヲ付テ字ニ依ルハ保シタラズル心ナリハハ例トセヨリヤウヲ職物ヲ
着ルハ好方存院ノ出カライトハ各別ノ為下也

右多夫吏 以モ好方存院ノ如房ノ名ニ父能坊官以ハシテ考
不方 去只内出カハ職物ヲ着右多夫吏ハ不着之ニ父ハ坊官
ナリソノ品同輩軍士也或ハ不着ワケハ時ニ違院ノ出カライヤ
氣ニ父ルモナトハ聽ルトモんシソノ人ニ依テ田異ナリシハ例ト
スニ不也

中膳 中上膳ノ次ニ内侍ハ職物ヲ着ル内侍ノ外ノ女官ハ着
ルナク内侍ト云ハ掌持ノ下ニテ長橋ノ局ナリソノ取ハ林業多職
物ヲ云エケラケ^{ナラガ}弁^ハ上^ニ侍^ル長^シム^スメ^ハ侍^ル殿^上人^{ナリ}侍^ル大夫
良家淳陽等ノ如ク中膳ト云ハ膳別者ノ同凡一切者又中膳ノ
膳ノ別者ハイテ田中房善法等ノ新舊侍者ノ妻是ナリハ膳ノ

坊ノムスガ好ニ歴ニナリタルトアリイツレノ代ヤルハ膳ノ別者ノムスメノ
腹ニ皇子誕生シ玉ヒテツカ天子ノ位ニ昂玉ヒテ物外ニ留メテナリ
タルトアリ名ノ高キ侍霄ノ歌ヲヨミタニ侍霄ノ如ク侍長モハ膳
ノ別者ノムスメ也

下膳

侍侍賀等日老ノ社司一皆^{ササ}祿^サ候^ナ名^ナ一^ハ侍^ル名^ナ一^ハ首^長大^全中^上侍^ル
候^ナリ六^位已^下ノ如^ク高^ノ安^ノ名^ヲ取^ル一^ノ尉^ノ妻^ノ名^ヲ付^ク一^トハ
左^ニイ^ルト^ハニ^アラ^ス候^名ト^ハ高^ノ常^ノ呼^名ト^ハ今^ノキ^サノ出^方出^ル
出^方ト^ハイ^フ妻^也サ^ムラ^ク名^トイ^ハス^{ナリ}イ^ワツ^テト^ハイ^フ常^ノ名^也
高^ノ常^ノ出^母公^孫松^木名^ノ息^也ナリ出^方岩^ノ出^方ト^ハイ^リ中^比ハ^新
大^納云^々ト^ハイ^ハ後^ニ准^后孫^ト稱^スナリ

比ノ下膳ノ如ク人ニ 乃多卿ノ如ク下膳ノ如ク人ニト云ニ近代中膳

品上品死人多欲 け白解カクニ近代中贈ノ中三上品ノ死分
多死ト多死カ死人トヒロクイニユトハコノナニノ女官當年侍已
上ラステ職トト云ナリ 職ハ死人ノ一ノ女死人ノ中贈中
ニ上品ノ多死トトシ 本ニ上品死人 品字作古上吉ノ死人トナリ
死臣古字ナハ多死不通ナリ 品ノ字カヨキヲ

凡女房上贈 一内侍外不入 一内侍、秋出左朝餉、尚国、
他ナク多上贈モ小上贈モ入ルカナク多下贈ハ朝餉、縁三モ 友
ルハナク多中贈ノ女縁ニテカカサレ、一ハ内服ヲ取ルハ出衣ノ
出入モナク多局ノ中ニ於テハ禁多ニ似タケルカナク多女に紺色糸ホ
シモ着テカカサ内膳ノ一推出メハ中下膳ナク多ノ錦端席出衣
敷外不用トシケモ解カクニ錦ニハ天子ノ出死ニ用ユ
シヨリ外ニナク多ムシロニテ不用ニシテ中贈下贈ハ着ルモナク多トナリ

は選

髪上ト髪下

天子ノ出グシテ結フコトイリ 非シ近代華族ハ花族ト云ハ歴
ノノ時多ク花ヤカニ 女官トシテ清苑ノ一ニアラス

大代衣ハ 与女房を差別 女房ト上贈中贈トナリソト
差別カキテ天子ノ出用ノ及具モテ代衣ニテ持ルコト死也
不有叶公平トハ天子ノ出出ノ出供也ヤナトト急死出用
カトトキハ内侍トモニ同車スモサモ死ニ不死サモナテ 急死車
ナトハ不可死分ノ一ト公平ハ公平カ公ノ公偏評強ニ叶ハサトト
死也ハ死トソユニセサクモナキカトシ 凡於車寄 急死車ト云ナリ
の流車ヨセカラスリニクルニ死ルハ上贈中贈小上贈サハ
車寄カラスグニ急死トト 仍選ハ殺害リ 急死トトト非トト
走内侍ハ行幸ノトキニ出死ニ内侍カ走リスミユククニハトナリ

乃選内侍ト同車ノあつたは申元ニナリ大代表ニ天子ノ御手
ヲリノ調度ヲ持てはカ入ニ先(内侍トモニ同車ノテリ)ト云キ
ハカリハユサレシ

米女 陪膳表ハキノハイ膳ニ出内膳ノ心ハナラヌ同ジウチノ
中ニモ陪膳ノ米女ハ尤お抱るヲ 晏ヨキトニ節令チト行ハ
トキ表ハキノ陪膳ニ 陪膳ノ米女ノ後クハ内侍ノヌケガリ付ル
仰クトハイツルトニ 志和例ニ 志和村上ノ年号ニ 節折トハ
節折ノ物人ス米女カツムルトニ 節折ハ政ヲノ名ニ 六月晦日
社祇友ノ言ヌ方天子ノ出カノ扱ヲスルトニ 社後トキト部友ノ
モノ竹ヲ切テソノ竹ヲ節折ノ奉ぬカシラウケトリテ天子ノ出カ
節折足出テ手ノタケラクニトトリソノ竹ヲソノ七廿ニ切テ扱ツル
公ニ根原ニ詳ニシハノ事ヲ節折ノ物人ト云ト部

又米女カ勤メテトニ社祇官ノ申ニ言テ内侍ノ事ハ 仰セ付テツトナレ
ハ内侍宮ト云ニ内侍ハ掌侍ニ世務ノ局ニハカ来ルニイツケテ
加能 履ノ字禁秘女ニ依テ自ニ字トス履ハ字ノアヤリナレニ
内侍処ノ事ナリ今モ内侍処ノ出モリ 又女官ヲ刀自ト云ツ甚
所各別ニ 常ノ甚処ニアラス各ハニルソソハ衣束ハ衣トハ
女官ノキル服一物ニ被ヤ 唐衣ナドヲ着ルナリ 唐衣モ衣ノ名
イニモ被ニ唐衣ヲキルノ出カヤ 唐衣ナドモ 唐衣ヲ着ルニ 結
中ト云フ者肩ヤ大令ノ洗ハ深レリ 首各ニ小單ノイソノ中ニ帯
ニ結フトイソイソ結中ト云ハ 大令ノ中ヲユテイシ 大令ノカカスラ
カニトイフアリケノ結中ト云ハ 大令ノカカスラカモシノ西キト結フ
髪ノ中ヲ結フト云ハ 衣服ノ西中ヲ帯ニテ 結フトイハハ為テ不常
内侍院ナリ

女官メウラカシ 扱テ女官トイフトキハヨリトヨム一官ノ名ニナルトキハニヨウカ
ト云ハ処モメノ字引テの流 不_レ足供_レ出 出_レ外ノ出_レ將_レ來_レ扱_レハ天
子ノ召ス_レ六_レ非_レ又_レ処々ノサリ_レ扱_レク_レ 件_レ出_レトイフク首_レ昏_レ六_レ叙_レ爵
年_レ出_レノ出_レ出_レトイ_レリサ_レ出_レノ_レト_レハ_レス_レ云_レ只_レ白_レ美_レノ_レ明_レ華_レ日_レ志
大_レ勢_レ参_レル_レト_レキ_レ物_レ大_レア_レリ_レ大_レ勢_レカ_レイ_レラ_レサ_レル_レト_レキ_レハ_レサ_レメ_レル_レ又_レモ_レ不_レ
出_レ出_レ殿_レニ_レイ_レル_レ女_レ官_レハ_レ女_レ公_レヲ_レ上_レレ_レモ_レサ_レセ_レル_レ位_レ禄_レ出_レ世_レモ_レナ_レル_レ女_レ使
ノ_レ出_レト_レシ_レ他_レ女_レ官_レハ_レ叙_レニ_レナ_レリ_レテ_レハ_レカ_レリ_レテ_レ大_レ勢_レカ_レア_レウ_レリ_レ出_レ
他_レ用_レモ_レナ_レキ_レト_レシ

主_レ殿_レ司_レ 今_レ不_レ取_レ 一_レト_レ主_レ殿_レ司_レノ_レ女_レ房_レハ_レ及_レ上_レ人_レノ_レ履_レヤ_レ裏
之_レト_レハ_レ出_レノ_レウ_レラ_レ張_レサ_レル_レヲ_レイ_レフ_レカ_レウ_レノ_レモ_レラ_レナ_レラ_レス_レ後_レナ_レリ
及_レ上_レノ_レ出_レ等_レノ_レ出_レニ_レ同_レ候_レノ_レ出_レ及_レニ_レ入_レラ_レモ_レ之_レ出_レニ_レ出_レテ_レハ_レ出_レ目_レノ
申_レ出_レノ_レ出_レツ_レイ_レテ_レハ_レ出_レ及_レサ_レシ_レテ_レモ_レ出_レル_レけ_レハ_レ元_レ東_レ及_レサ_レシ_レテ_レハ_レ出_レ

ル_レモ_レ非_レト_レシ 貫_レ衆_レト_レシ 扱_レ人_レノ_レ出_レラ_レ云_レ 主_レ殿_レ司_レ 美_レ麗_レ姿_レ也 衣_レ履_レ不
結_レ構_レナ_レラ_レ着_レル_レト_レシ 主_レ殿_レ司_レハ_レ赤_レキ_レ衣_レク_レル_レク
女_レ房_レ 掃_レ除_レ扱_レ油_レ 上_レ下_レ格_レ子_レノ_レ扱_レ人_レノ_レ勤_レ後_レス_レル_レト_レシ
尤_レノ_レ止_レ云_レ云_レ云_レ 尤_レノ_レ止_レ尤_レノ_レ止_レ云_レ後_レノ_レ出_レア_レリ_レト_レハ_レ出_レ手_レ門_レに
け_レテ_レカ_レ禁_レ秘_レ扱_レ之_レけ_レモ_レノ_レ女_レ房_レト_レシ 意_レ義_レ不_レ通_レト_レ云_レク_レアリ
院_レ司_レ

扱_レ又_レ 上_レ下_レト_レシ 出_レ次_レ下_レ 仕_レ所_レ 別_レ納_レ所_レ 進_レ酒_レ所_レ 禁_レ中_レ
定_レツ_レク_レモ_レト_レヨ_レム_レシ 院_レノ_レ出_レト_レシ_レモ_レ所_レヨ_レム_レキ_レカ 出_レ馬_レ廐_レ 三_レ三_レヤ_レト_レ不_レ可_レ流_レ
車_レ副_レト_レダ_レミ_レト_レ列_レス 車_レガ_レハ_レモ_レト_レシ 三_レ三_レヤ_レト_レ不_レ可_レ流_レ 牛_レ飼_レ 一_レ本_レ作_レ
閑_レ自家_レ 女_レ房_レ 用_レ園_レ衆_レ出_レ廐_レ 預_レ 樂_レ主_レ 居_レ飼_レ
殿_レ司_レ 下_レ殿_レ司_レ 偽_レ友_レ位_レ 偽_レ友_レ位_レハ_レ宗_レ門_レニ_レツ_レテ_レ異_レナ_レリ

出_レ及_レ

雜錄

五位ノ大納言ヲシテ大納言トシテノムスメトシテ
聖護院及弓親王ノ母弟ヲモアセテ殿トイフ
外父ノ内ヲ付テ
モ呼フ管内侍管内納言ノルイ管内ノムスメシ

公卿束帶 次ハ古ト今ト替

束帶

古先ツ着ニ赤大口シラズ次ニ襪シラズ次ニ表袴シラズ次ニ單シラズ次ニ袖シラズ次ニ下シラズ次ニ付袴シラズ古
イウモノハ下襪衣ノウシロキヌフキクシテ引タリ下襪衣ノ付袴ト
ウシロノスガ重ニ裾ナリ今ハ別ニ切ハシテ裾ハ別ニ付テシ

其

半辟中古縁タリ由來加茂祭ニ考典別衣新ニ古キス

今先着赤大口次襪次ニ表袴次ニ大帷是ニ單ノエリト下襪ノ子次ニ袖付次ニ單付次ニ袖付

次ニ裾古ハ下襪衣ノスリシ次ニ絶今別ニ作ク

魚代衣

金魚袋 銀魚代衣アリ之品以上金魚代衣五品以上銀魚代衣
付ラ夜半リ帯テ書ハ不帯ト云況アリヒカシ一昼夜トモニ帯テ
魚書寐テ扱不眠ト云テ一乃大丸ヒカシ一



五七

